

地震火山観測研究センター一年報 : 2008 年度版

<https://doi.org/10.15017/16960>

出版情報 : 九州大学大学院理学研究院附属地震火山観測研究センター一年報. 2008, 2010-01. 九州大学大学院理学研究院 附属地震火山観測研究センター
バージョン :
権利関係 :

おもなセンター行事

2008年4月21-26日

長崎大学水産学部の長崎丸(842総トン)を使用し、九州東方の日向灘に26台(うち九州大学11台)の海底地震計を設置しました。これは、長崎大学、東北大学、東京大学、鹿児島大学との共同研究であり、設置航海には九大から植平、内田、山下裕亮が参加しました。

2008年5月12日

2008年5月11日に発生した宮崎県小林市付近の地震観測のため、九大地震火山センターでは鹿児島大学と共同で宮崎県小林市に臨時地震観測点を設置しました。

(清水、雑賀、山下裕亮)

2008年5月12-17日

北マリアナ諸島のアナタハン火山において、火山活動調査(GPS測量、傾斜観測、地震観測、火山砕屑物調査)を実施しました。(松島)

2008年5月20日

平成新山への調査登山を行いました。九大地震火山センターの職員・学生および防災・報道関係者など56名が参加しました。

2008年6月14-16日

2008年6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震の調査研究のために、宮城県栗原市に地震計2台とGPS測定装置2台、秋田県湯沢市にGPS測定装置2台を設置しました。

(松島、中元、山下裕亮)

2008年6月23-29日

北マリアナ諸島のアナタハン火山において、火山活動調査(GPS、傾斜計、地震、火山地質)を実施しました。

(松島)

2008年7月4日

九州大学筑紫キャンパス(春日市春日公園)の地下80mに高感度地震計を設置し、「九州大学地震火山観測研究センター春日観測点を」新設しました。

また、観測点の設置作業を報道陣に公開し、観測点近傍にある警戒断層についての最新の観測研究成果を説明しました。(清水、松本、松島、雑賀)

2008年7月7-11日

2008年4月に日向灘に設置した海底地震計を長崎大学水産学部の長崎丸を使用して回収しました。

(植平、内田、中元、山下裕亮)

2008年7月24日

ニュージーランド ヴィクトリア大学准教授で火山地震研究者のMartha Savageさんによるセミナー「Seismic anisotropy as a possible volcano monitoring tool」がセンター新館において開催されました。

2008年9月1-11日

東京大学、東北大学、北海道大学、千葉大学と共同で、福島県沖～茨城県沖～千葉県沖において発破による海底地下構造探査を実施しました。(植平、山下裕亮)

2008年9月22-27日

2008年度特定火山の集中総合観測(阿蘇山)の一環として、水準測量を阿蘇山周辺で実施しました。

(松島、内田、中元、山下裕亮)

2008年9月26日

センター所属博士課程の河野裕希が理学(博士)の学位を取得しました。

[学位論文]

A study on structure of magma supply system at Unzen Volcano based on seismic- and geodetic- observations of crustal activity (地殻活動観測に基づく雲仙火山マグマ供給系の構造に関する研究)

2008年10月1日

博士課程を修了した河野裕希は、北海道大学地震火山研究観測センターに就職しました。

2008年10月20日

島原半島ジオパークが世界ジオパーク国内候補地に決定しました。

2008年11月2-8日

全国の火山噴火予知関連機関共同で実施された、桜島火山体構造探査に参加しました。(清水、中元、山下裕亮)

2008年11月8-11日

2008年度特定火山の集中総合観測(阿蘇山)の一環として、阿蘇重力測定を実施しました。(内田)

2008年11月11-14日

ひずみ集中帯全国共同GPS観測において新潟県内に4点の臨時観測点を設置担当しました。

(松島・宮崎真大(3年))

2008年11月21日

平成新山への調査登山を実施しました。

(松島、山下裕亮、栢橋、三輪(地惑岩石講座))

2008年12月17日

12月17日付で退任される吉岡島原市長にセンターからこれまで16年間のセンターへの応援・支援に対して感謝状を贈呈しました。

2008年12月22-24日

「東海・東南海・南海地震の連動性評価研究」（文部科学省委託事業）の一環として、東京大学地震研究所と共同で紀伊半島沖に海底地震計を設置しました。（植平）

2009年1月15日

「九州大学理学部地球惑星科学科専攻・特別研究発表会」が行われ、栢橋志郎が以下の発表を行いました。

[特別研究]

九州の稍深発地震のP波とS波の間に見られる顕著なフェイズについて

2009年1月18-24日

東京大学地震研究所と共同で北マリアナ諸島・アナタハン火山のGPS調査・地質調査を行いました。臨時地震観測点の保守をおこなうとともに、故障していたUSGSの地震テレメータシステムの修理も行いました（松島）

2009年1月26-27日

ひずみ集中帯総合研究における伸張場の地殻変動観測のために宮崎県日之影町、五ヶ瀬町、熊本県美里町に新たにGPS観測点を設置しました（松島）

2009年1月29日

「九州大学 博士学位論文公聴会」が行われ、センター所属博士課程の Rizkita Parithusta が以下の発表を行いました。

[学位論文]

Spatial variation of attenuation factor in subduction zone of Philippine Sea slab around Kyushu Island

2009年2月16日

「九州大学理学部地球惑星科学科専攻・研究中間発表会（修士1年）」

[研究発表]

中元真美：2005年福岡県西方沖地震の断層周辺における散乱体の推定に向けて

山下裕亮：相似地震解析による日向灘のプレート間カップリングについての研究

2009年2月18日

雲仙岳警戒区域設定等の調整会議が島原で実施され、松島が雲仙岳の現在の状況について報告しました。

2009年2月26日

福岡市西戸崎の九大敷地内に新たに深さ40mのボーリング孔を掘削し、内部に地震計を設置しました。地中に設置したことにより、雑振動が数分の1に抑制されて、より微小な地震も検知できるようになりました。

2009年2月26日

宮崎県日南市に、テレメータ観測点「日南宮浦観測点（NCM）」を新設しました。（植平、内田）

2009年3月19日

長崎県諫早市の小ヶ倉地震観測点が改修され、新しい衛星通信テレメータ装置を設置しました。

（松島、内田、山下裕亮、千蔵）

2009年3月23日

これまで地表設置だった小浜観測点が改修され、地下15mのボーリング孔に地震計が設置されました。

（松島、中元、山下裕亮、千蔵）

2009年3月24日

「九州大学 地球惑星科学科卒業式」（栢橋志郎）

「九州大学 学位授与式」（リツキタ パリツスタ）

インドネシアからの留学生のリツキタ パリツスタは博士課程を修了し、理学（博士）学位を取得し帰国しました。